

森永卓郎著『書いてはいけない』を読む 日本航空123便の事故の真相

昨年末にステージ4の膀胱（すいぞう）がん闘病を公表した経済アナリストの森永卓郎氏（66）の新著『書いてはいけない』（三五館シンシャ・3月20日）が9日出版され、注目されています。（写真は、yahoo!ニュースから）

冒頭に、「・・・メディアでは、けつして触れてはいけない「タブー」が3つ存在した。

- （1）ジャーナリズムの性加害
- （2）財務省のカルト的財政緊縮主義
- （3）日本航空123便の墜落事件

この3つに関しては、関係者の多くが知っているにもかかわらず、本当のことを言ったら、瞬時にメディアに出られなくなるというオキテが存在する。・・・下手をすると、逮捕され、裁判でも負ける。」と書いています。

（1）は、2023年3月にイギリスのBBCが放送し、性被害者が告発を行い、国連人権理事会も動いて、急展開の解決に向かいました。

（2）は、森永卓郎『ザイム真理教』（三五館シンシャ・23年6月）が出版され、コロナ禍で世界の各国が消費税を下げているのに、なぜ日本は「消費税減税」を拒否するのか、財務省の問題が余すところなく明らかにされました。

（3）は、すでに青山透子氏が『日航123便墜落の内幕』（河出書房新社2017年7月）を書き、5冊の著書を出し、「社会がひ



その時に破損した圧力隔壁をボーイング社が修理した際に、十分な強度を持たない誤った方法で行ったため、それが破損につながったというのが公式見解とされています。

事故原因の真相

この事故原因には、さまざまな疑念が持たれてきました。

●圧力隔壁説は、高度7300ftでは機内の空気が吹き出し、客室内の人も荷物も無事でないはずだが、そのようなことは起きていなかった。

●123便は、尾翼の一部を除いて、機体が無事だった。

●航空事故調査報告書では、尾翼に何かが追突した可能性が高いことを認めていた。

●オレンジ色の飛翔体が123便に向かって飛んでいる写真が見つ

かった。

その飛翔体は、自衛隊の88式地对艦誘導弾の可能性があり、当時開発中で爆薬は搭載されていないミサイルで、色がオレンジ色。

また無人標的機も訓練で使うためオレンジ色で、洋上で自衛隊が民間機に誤って「攻撃」を加えた可能性。

●機体後部で爆発直後に、羽田空港に戻る進路を変えたが、米軍横田基地に着陸目標を変更し、横田基地を目前にして、着陸を断念し、突然進路を海側ではなく山側に変えた「謎」。

もし、123便が無事に着陸したら、本当は何が起きたのか、完全にわかってしまう。

●墜落のわずか2時間後に、現場上空に米軍ヘリが到着し、空からの救出が始まろうとしていた時に、横田基地から退去命令が来て、米軍は救出作業が出来なかった。

●機体は内陸部でレーダーに捉えられ、事故の目撃情報の通報があったのに、政府は墜落場所がわからないと言いつつ、墜落現場が特定されたのが、事故後10時間も経ってから。

●墜落直前の123便を、2機の自衛隊のファントム機が追尾していた複数の目撃証言と、当時の小学生や中学生の文集のなかにも目撃の記述がある。

●墜落現場で、第4エンジンだけが主翼から外れ、粉々になって広範囲に散乱し、墜落直前に「第4エンジン」がミサイルで「撃墜」

された疑い。

●墜落現場で遺体が完全に炭化し、検視した医師は「まるで2度焼きしたようだ」との証言。

ガソリンとタールをまぜたような強い異臭は、航空機のジェット燃料にはなく、自衛隊が使う火炎放射機による証拠隠滅の可能性。

日航123便の遺物からベンゼンが検出され、航空燃料にはベンゼンは含まれず、ガソリンには含まれ、遺物を溶かしたのは航空燃料ではなく、火炎放射機の燃料の可能性。

●正否を検証するたった一つの方法は、ボイスレコーダーとフライトレコーダー。

その開示を求める遺族の請求は、2022年10月13日に東京地裁は棄却。23年6月1日に2審も棄却で、開示は拒否。

日本経済の墜落

森永氏は、事故の41日後の「プラザ合意」で、日本経済に致命的な決定（超円高）がされ、ほぼ1年後に日米半導体協定で、日本の半導体産業の凋落が決まり、89年からの日米構造協議で、日本の市場開放と対米全面服従になったと述べ、

123便の墜落原因を、ボーイング社に泥をかぶってもらい、アメリカに口裏を合わせてもらい、真相を隠へいし続けてきた事が、対米従属と日本経済墜落の真相と述べていますが、どうでしょうか。

東栄地区で小中一貫校の説明会 これまで対話がなかった

「藤島地域教育振興会議最終報告書」に関する東栄地区説明会」が9日、同地区活動センターで開かれ、質問の一部を紹介します。

問 小中一貫校では、先生の負担が増えるのではないか。

答 会議が増えることは懸念材料の一つとして考えているが、業務の見直しをかけることで、全体では減るのではないか。

長い目で考えれば働き方改革につながり、子どもたちにも質の高い教育が出来る。

問 長い目でみるとどの程度か。

答 萩野学園に昨年伺ったら、3年目位で軌道に乗ってきたとのことだ。

問 家庭・地域との繋がりで、元町の人だけが関係となるのか。

答 活動の中心は文厚

エリアになるが、他の地域をないがしろにするということはない。

学校を早く終わりにして、東栄地区の子どもたちは東栄で活動する日を設けるとか、クラブ活動を地域に還元したり、藤島の子どもが東栄の獅子踊りをやってみたいとか、横の交流も可能になる。

今も、長沼の子どもは長沼地区で活動を行っている。

問 この問題で、行政から伝わる情報量は圧倒的に少なかった。

保護者アンケートの結果は9割が賛成とだけ言うが、集約は15%だったことはなぜか言わない。

教育振興会議では、回答しなかった人は賛成なのだという考え方をしている人もいた。アンケートが進まないのは、情報量に原因があると考ええる。

教育振興会議はどんなに進んでいくが、これまで対話の機会はなかった。

やっても今回のような一問一答方式だ。

わからない事を、色々わかり合えるまで話しあうということが大切だった。

答 どうやったら伝わるか模索しながらやってきたが、難しかった。

問 学校を建設すれば50年間変わらないのに、ほぼ1年の短期間で結論を出してきた。拙速ではないのか。

中学校の改築はわかっていたのに、ギリギリになってこういう問題を出してきたのはどういうことか。

子どもの意見や、現場の先生の意見を聞かないで、結論を出して良かったのか。

答 大人でさえ難しい問題を、どう子どもたちから意見を聞くかだ。新しい学校づくりを進める時には、子ども達から意見を聞く。

管柵になった。

上部は鉄柵をつなぐ柵石柱が周を囲んでいる。石柱は頂部が4角垂の長方形である。基壇の四隅と正面両脇にある6個の石柱は、間にある同形の石柱よりやや大きく（作図1）高さ46cmで6cm高い。石柱の東西・南北両面は212×214cm。頂部は4角垂で中央と縁の高さの差はすべて25cmである。

小型の石柱は南北側に各3個、西側に4個、東側（正面）は2個で、

全部で18個になる。

そして石柱を支える厚さ12cmの土台石がある。石質は福島石といわれ、良質な白御影石で、クセのない穏やかな石目、変色しにくい特徴があり、外柵、記念碑などに使用。柵石柱も福島石である。

基壇中央の底部から土台石までの高さは94cm、土台石は12cmで計106cmである。

この高さは、地面から邪魔されるものがなく、石碑がよく見える構造になっている。



殺傷兵器の輸出解禁

戦争放棄の国が戦闘機を売るというんだ。

「チョットだけ 反対見せて 付いて行く」

これがご存じ、平和の党を標榜する公明党の姿です。これで大臣の椅子一つ掴めるんですからネ。安倍総理の集团的自衛権の時には、苦渋の決断と言っては平和憲法に傷をつけ、戦争に近づく事だった記憶がある。

▲自民党にしてみれば、国の方向を単独で決めたことにはならず、体裁がよい。そんな重大な事に手を貸してくれるから大臣の椅子一つは安い物。公明にすれば、さも自分らの意見が大事な事の決定を左右したかに見せる姿。

戦闘機輸出を閣議決定で決める。それは許されない。

▲「条件付き」？ 穴が開いてしまえばそんな

な条件はいつでも吹っ飛ばされる。武器輸出3原則を防衛装備移転3原則と変えて、それを承知で、何が平和の党ですか。

▲2度と戦争はしないと世界に約束をした日本の憲法では、持つことが出来ない長距離弾頭弾・トマホークを爆買したと思っていたら、戦闘機を作ってそれを売り出すというんだ。憲法9条では、出来ないことです。当然、殺傷兵器の輸出は出来なくて困っていたのに、助け舟をだしたんだよ・公明党は。日本をどういう国にしたいんだい・この党は。党の綱領に平和は、どう書いてあるんだ？

▲いよいよ資本主義も行き詰まって、兵器を売らなければ金儲けができなくなつたんだか。裏金で政権を買い、兵器を売って金儲け。こんな政権は変えよう。

(石川)



『駐鑾(ちゅうらん)之碑』の石碑台座の柵

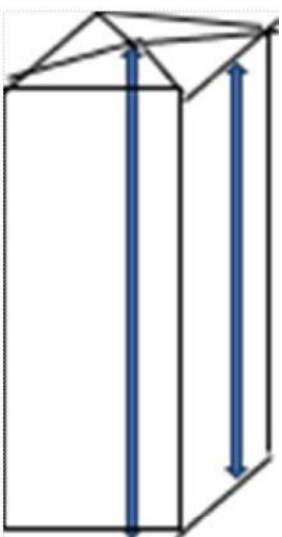
東田川史跡物語

『駐鑾之碑』規模調査の現段階③

青山 崇

写真①は、『駐鑾之碑』の石碑台座の柵の状況である。

1888年の建立時の鉄柵は、昭和18年全



(作図1)

面改正で一層厳しくなった金属類回収令で回収された。しばらくは柵なしだったようだ。戦後に現在のビニール